

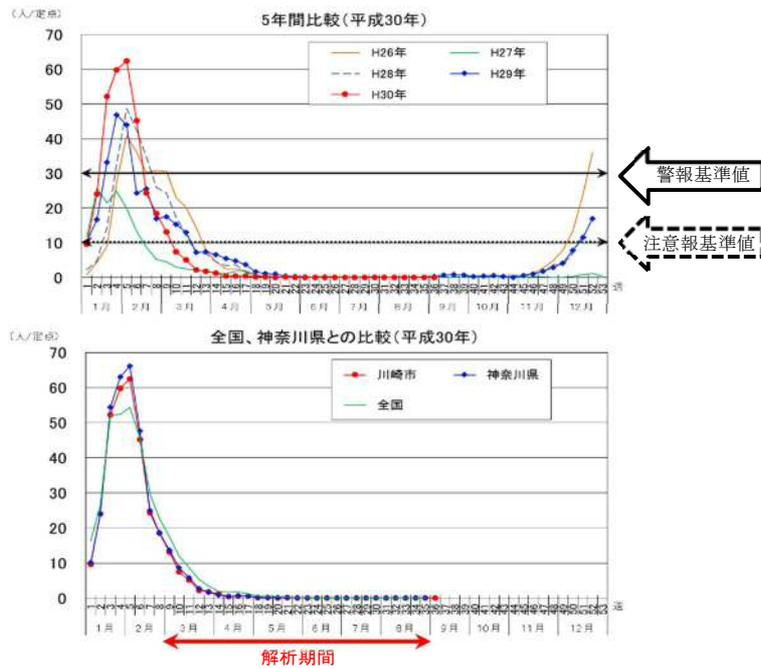
定点把握疾患の届出状況(平成 30 年 3 月～8 月)

<インフルエンザ定点対象疾患>

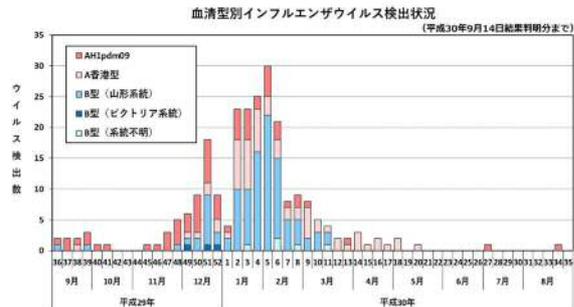
インフルエンザ(警報基準値:定点当たり 30 人、注意報基準値:定点当たり 10 人)

【川崎市】

今期(平成 30 年 3 月～8 月)は定点当たり 1.26 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.52 倍で、例年より低いレベルで推移しました。2017/2018 シーズンは、平成 29 年第 47 週に流行開始の目安である定点当たり 1.00 人を超え、2016/2017 シーズンと比べて 1 週間遅く流行が始まり、平成 29 年第 51 週に流行発生注意報基準値(定点当たり 10.00 人)、平成 30 年第 3 週に流行発生警報基準値(定点当たり 30.00 人)を超え、平成 30 年第 5 週に流行のピーク(定点当たり 62.43 人)となり、現在の調査方法となった平成 11 年以降最多の報告数となりました。なお、平成 30 年第 15 週以降は定点当たり 1.00 人を下回り、非流行期となりました。

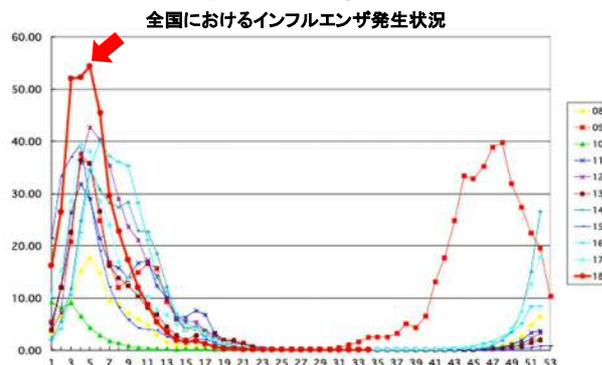


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。2017/2018 シーズンは、B 型(山形系統)が 104 件、AH1pdm09 型が 65 件、AH3 亜型が 62 件、B 型(系統不明)が 5 件、B 型(ビクトリア系統)が 3 件検出されました。



【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり高いレベルで推移しました。

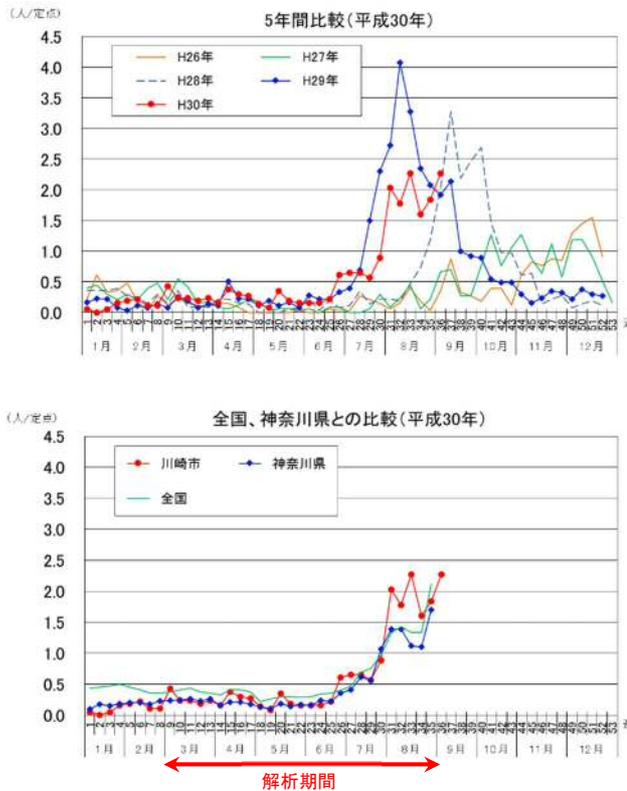


<小児科定点対象疾患>

RSウイルス感染症

【川崎市】

今期は定点当たり 0.61 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 2.12 倍で、例年よりかなり高いレベルで推移しました。7 月下旬以降患者報告数が急増し、特に 8 月は例年よりかなり高いレベルで推移しました。

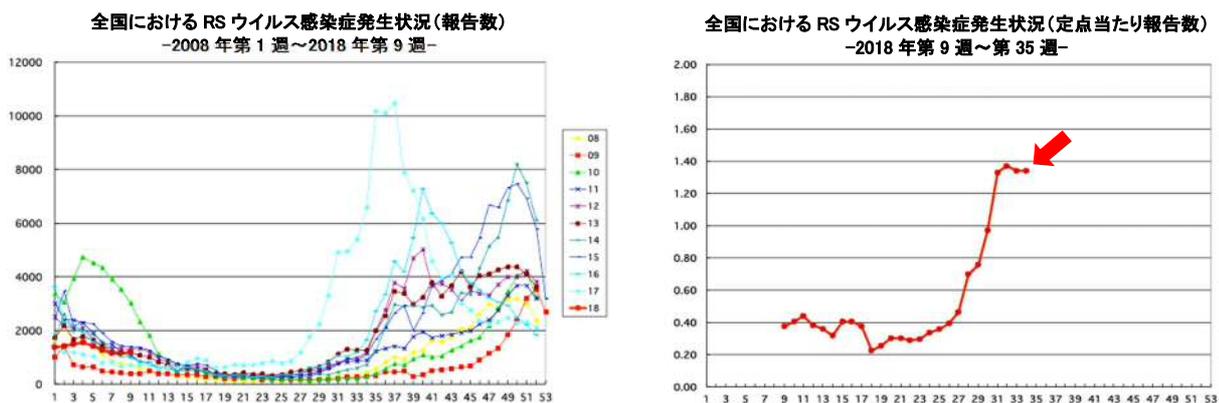


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	女	1	H30.3.26	鼻腔ぬぐい液	RS ウイルス B 型
中原区	女	1	H30.4.17	鼻腔ぬぐい液	RS ウイルス A 型
幸区	男	3	H30.4.24	鼻腔ぬぐい液	パラインフルエンザウイルス 1 型
幸区	男	7 か月	H30.8.6	鼻腔ぬぐい液	RS ウイルス B 型
中原区	男	1	H30.8.7	鼻腔ぬぐい液	RS ウイルス B 型
中原区	女	1	H30.8.21	鼻腔ぬぐい液	RS ウイルス B 型

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり高いレベルで推移しました。



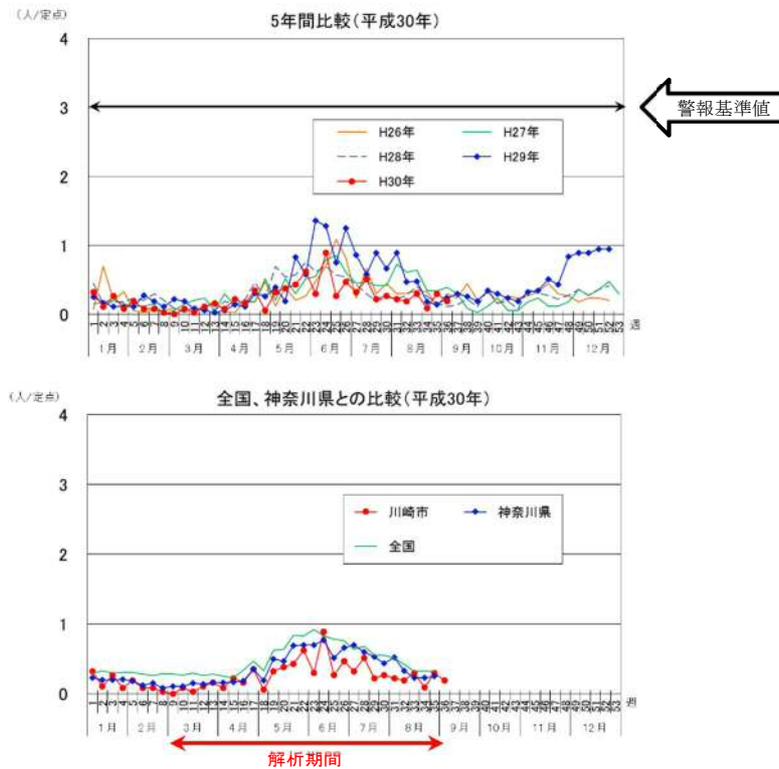
※2018 年第 9 週(2 月 26 日~3 月 4 日)から、国立感染症研究所における RS ウイルス感染症の集計方法が変更となりました。(報告数→定点当たり報告数)

咽頭結膜熱(警報基準値:定点当たり3人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.27 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.75 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (3) 以上となった週はありませんでした。

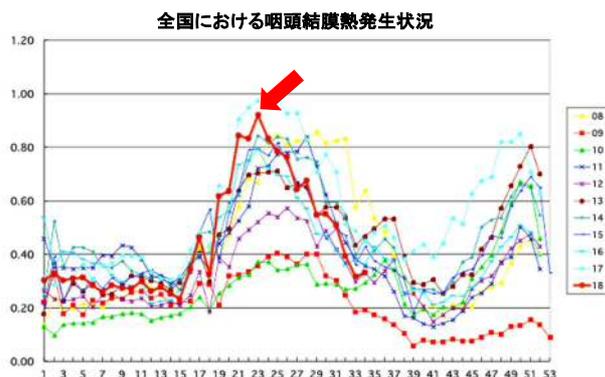


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	女	5	H30.4.27	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 3 型
幸区	女	1	H30.5.1	咽頭ぬぐい液	陰性
多摩区	男	1	H30.5.23	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 1 型
中原区	男	1	H30.5.23	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 1 型
中原区	女	1	H30.6.5	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 2 型
多摩区	男	3	H30.6.6	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 3 型
幸区	男	1	H30.6.25	咽頭ぬぐい液	陰性
幸区	男	1	H30.7.9	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 2 型
幸区	男	1	H30.7.11	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 2 型
幸区	男	7	H30.7.23	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 3 型
川崎区	女	1	H30.8.20	咽頭ぬぐい液	アデノウイルス 3 型

【全国及びその他】

全国的には例年より高いレベルで推移しました。

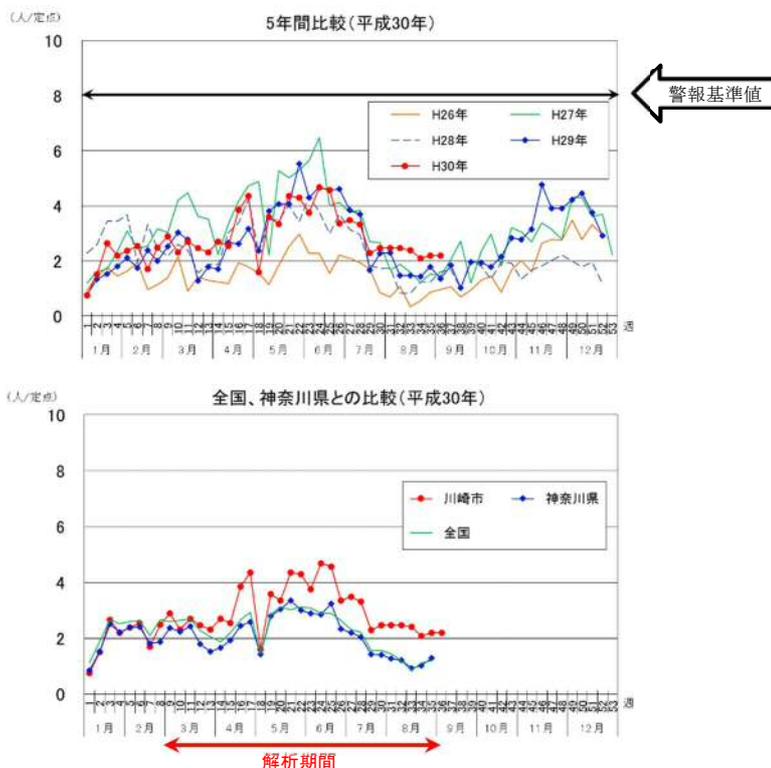


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報基準値:定点当たり8人)

【川崎市】

今期は定点当たり 3.08 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.21 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。特に 7 月下旬以降は例年より高いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (8) 以上となった週は、多摩区で第 17 週 (10.40 人)、第 22 週 (9.00 人)、第 25 週 (8.40 人)、高津区で第 25 週 (8.17 人) でした。

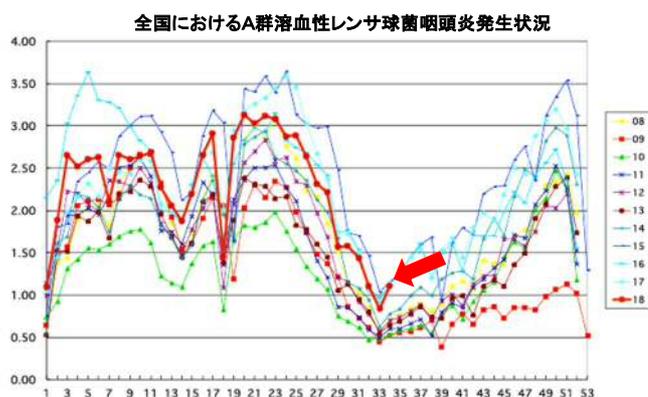


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
高津区	女	5	H30.3.5	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 T6
多摩区	男	1	H30.4.19	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 T1
中原区	男	4	H30.4.20	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 TB3264
中原区	女	6	H30.5.8	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 TB3264
中原区	男	8	H30.5.30	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 TB3264
中原区	男	6	H30.6.5	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 T28
高津区	男	10	H30.6.7	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 TB3264
多摩区	男	7	H30.6.15	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 T1
中原区	女	1	H30.7.4	咽頭ぬぐい液	A 群溶血性レンサ球菌 T12

【全国及びその他】

全国的にも例年よりやや高いレベルで推移しました。

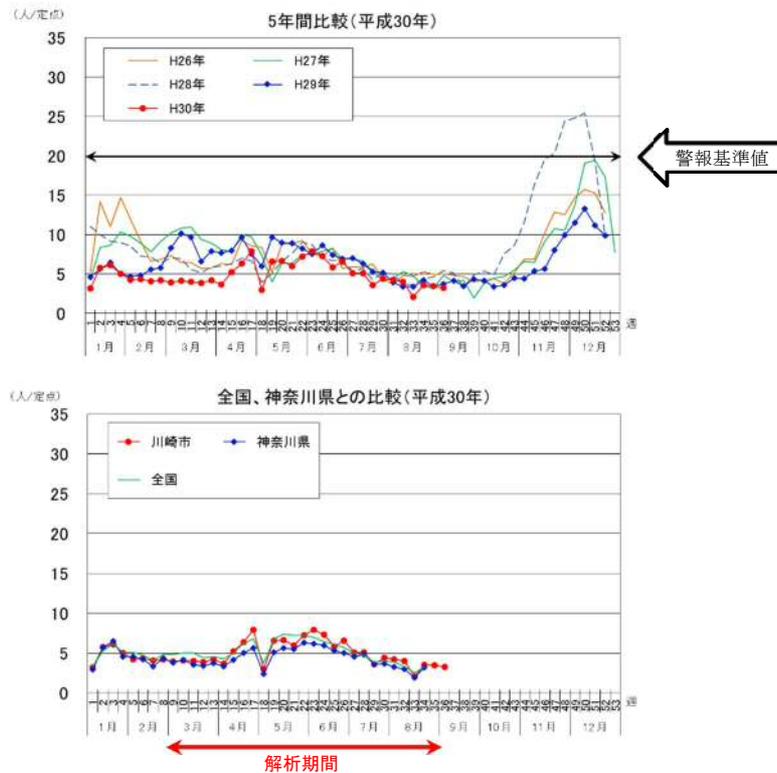


感染性胃腸炎(警報基準値: 定点当たり 20 人)

【川崎市】

今期は定点当たり 5.06 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.75 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (20) 以上となった週はありませんでした。

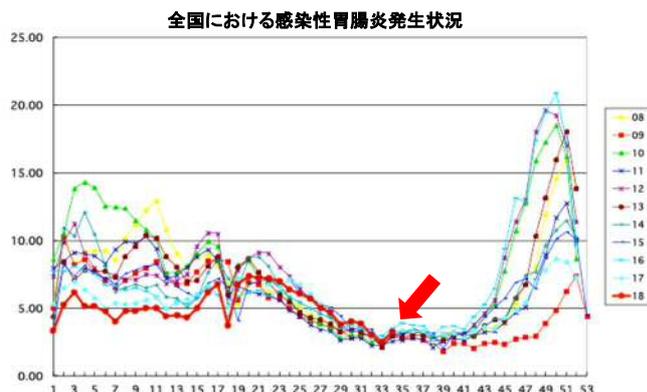


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果(ウイルス)	検査結果(細菌)
幸区	男	9	H30.3.26	ふん便	ノロウイルス GII.2	陰性
幸区	男	4	H30.4.9	ふん便	陰性	陰性
幸区	男	8	H30.4.16	ふん便	ロタウイルス G8P[8]	陰性
中原区	男	11 か月	H30.5.7	ふん便	ノロウイルス GII.4	陰性
幸区	男	11	H30.5.28	ふん便		陰性
幸区	女	1	H30.6.15	ふん便	ヒトアストロウイルス 1 型	陰性
幸区	男	8 か月	H30.6.27	ふん便	アデノウイルス 41 型	陰性
幸区	女	1	H30.7.9	ふん便	陰性	陰性

【全国及びその他】

全国的には 4 月下旬まで例年よりやや低いレベルで推移しましたが、それ以降は例年並みのレベルで推移しました。

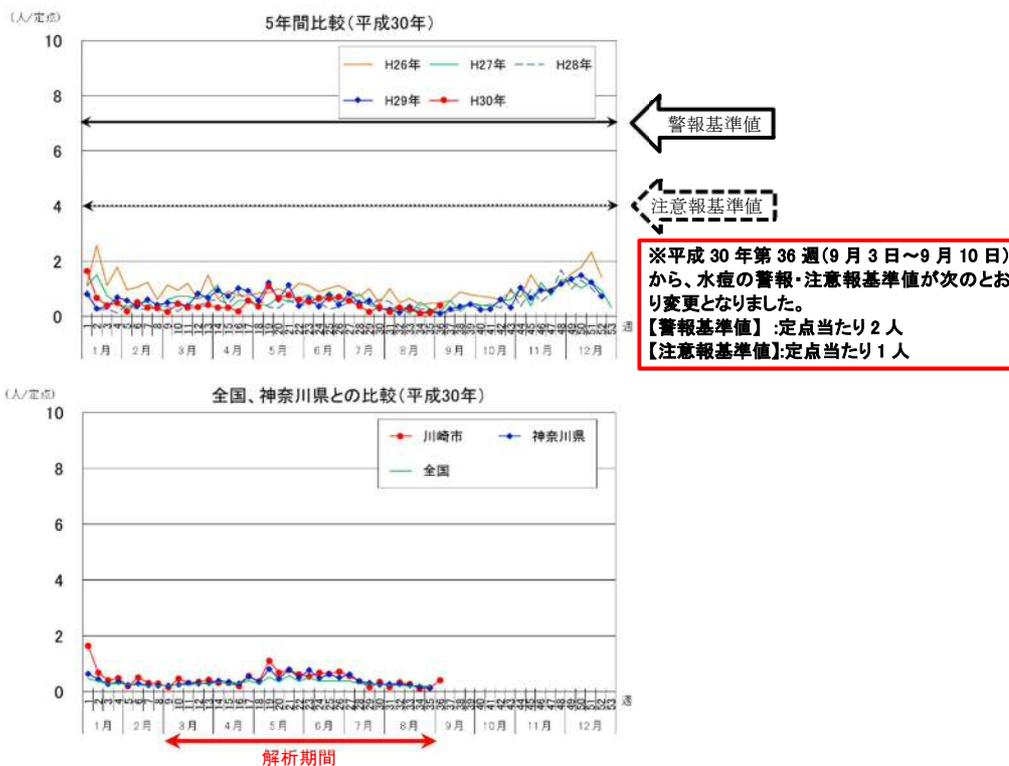


水痘(警報基準値:定点当たり7人、注意報基準値:定点当たり4人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.44 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.64 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

今期、流行発生注意報基準値 (4) 以上となった週はありませんでした。

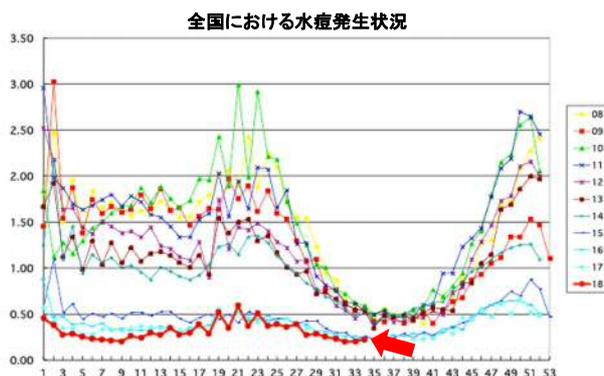


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
多摩区	女	2	H30.2.28	咽頭ぬぐい液	サイトメガロウイルス
					ヒトヘルペスウイルス 6 型
中原区	男	8	H30.5.1	咽頭ぬぐい液	ヒトヘルペスウイルス 6 型
中原区	男	6	H30.5.1	咽頭ぬぐい液	水痘・带状疱疹ウイルス
					ヒトヘルペスウイルス 7 型

【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

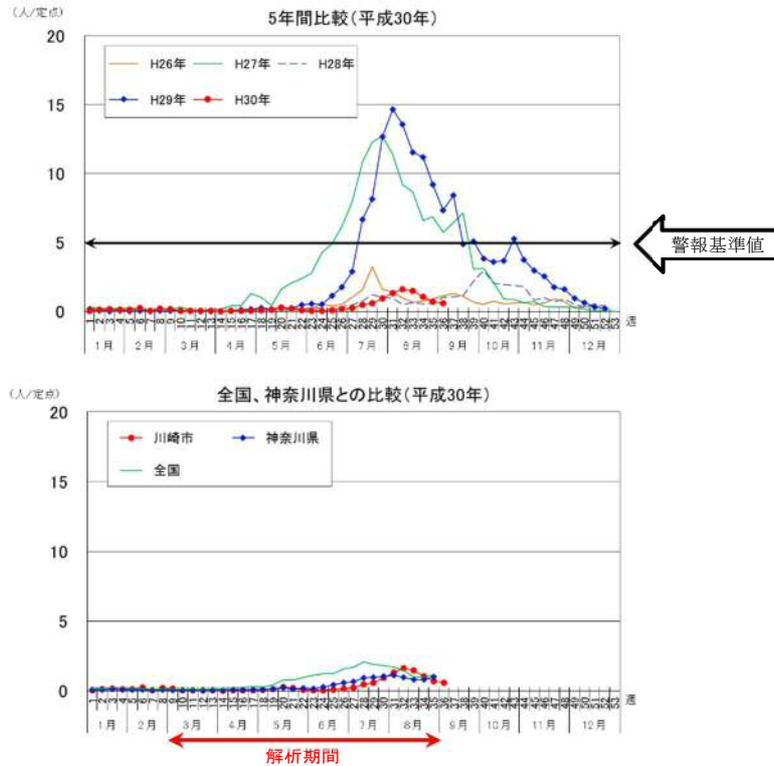


手足口病(警報基準値:定点当たり5人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.35 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.15 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (5) 以上となった週は、川崎区で第 33 週 (5.50 人) でした。

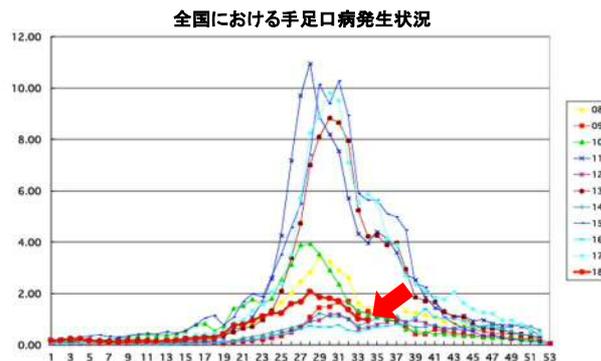


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	男	1	H30.8.1	咽頭ぬぐい液	ライノウイルス A
					アデノウイルス 2 型

【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

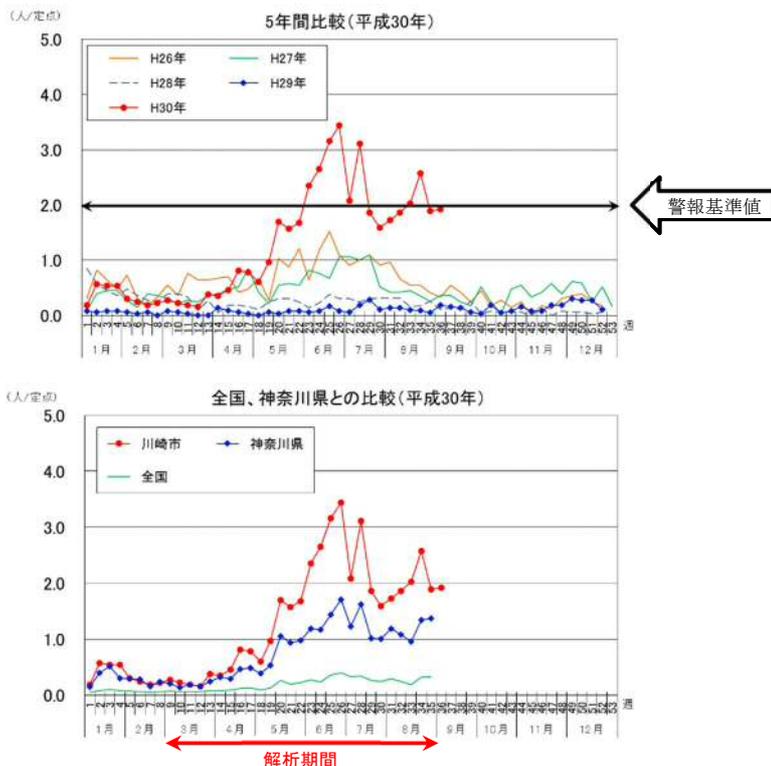


伝染性紅斑(警報基準値:定点当たり2人)

【川崎市】

今期は定点当たり 1.49 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 4.05 倍で、例年よりかなり高いレベルで推移しました。第 23 週には定点当たり 2.35 人となり、流行発生警報基準値(定点当たり 2.00 人)を超えたため、市内に流行発生警報を発令しました。第 24 週以降さらに報告数が増加し、第 26 週には過去 10 年間と比較して最多の報告数(定点当たり 3.44 人)となりました。

今期、流行発生警報基準値(2)以上となった週は、宮前区で第 16 週～第 17 週、第 20 週～第 35 週、多摩区で第 20 週、第 23 週～第 35 週、麻生区で第 20 週～第 29 週、第 35 週、高津区で第 24 週～第 26 週、第 28 週、第 31 週、第 34 週、中原区で第 34 週でした。



なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
多摩区	男	3	H30.5.8	咽頭ぬぐい液	パルボウイルス B19
多摩区	男	5	H30.5.11	咽頭ぬぐい液	陰性
中原区	男	5	H30.6.5	咽頭ぬぐい液	ヒトヘルペスウイルス 7 型
多摩区	男	2	H30.6.8	咽頭ぬぐい液	陰性
麻生区	男	8	H30.6.15	咽頭ぬぐい液	陰性
中原区	女	2	H30.6.18	咽頭ぬぐい液	陰性
多摩区	男	4	H30.6.25	咽頭ぬぐい液	陰性
中原区	男	4	H30.8.6	咽頭ぬぐい液	水痘・带状疱疹ウイルス

【全国及びその他】

全国的には例年並みのレベルで推移しました。

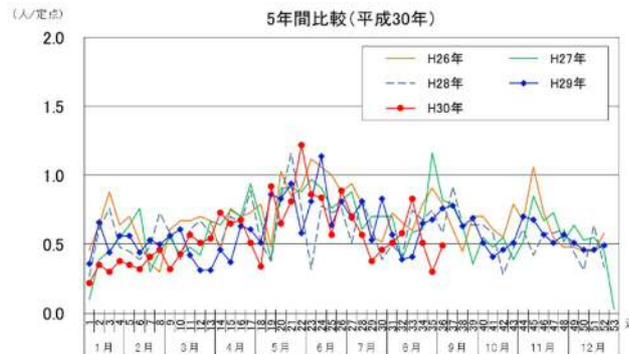


突発性発しん

【川崎市】

今期は定点当たり 0.62 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.88 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

また、年齢階級別では 1 歳以下が 79.5%を占めていました。

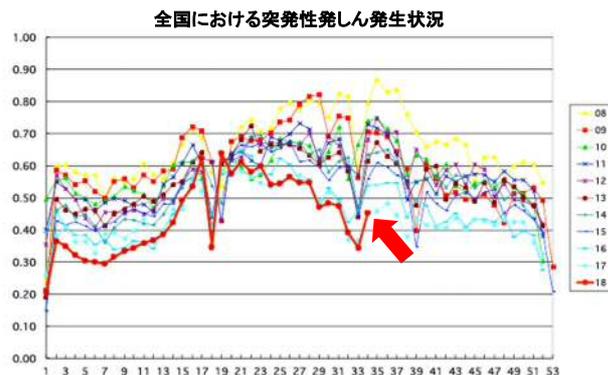


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
多摩区	女	1	H30.3.9	咽頭ぬぐい液	ヒトヘルペスウイルス 6B 型
中原区	女	4	H30.4.7	尿	EB ウイルス

【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

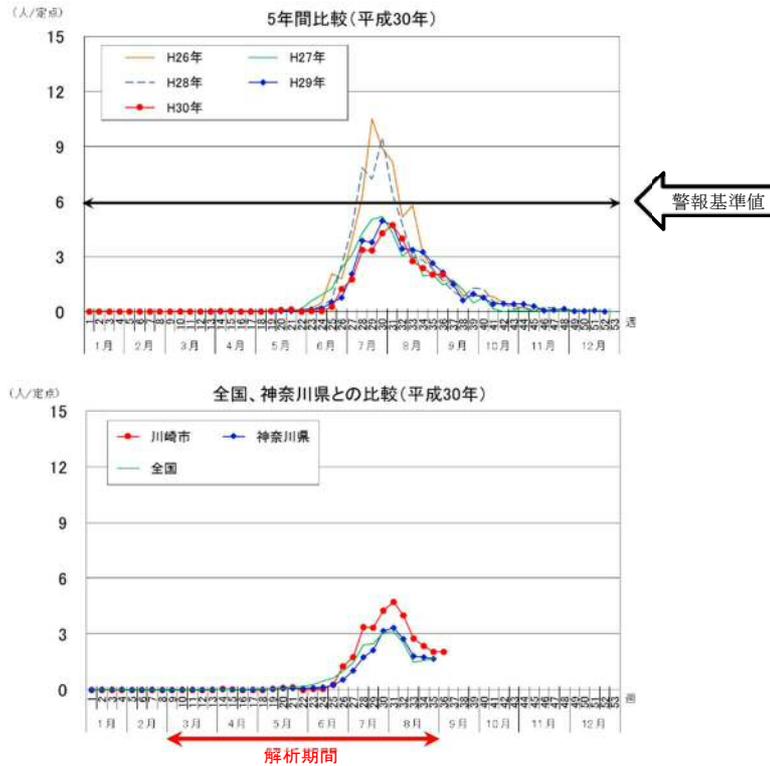


ヘルパンギーナ(警報基準値: 定点当たり 6 人)

【川崎市】

今期は定点当たり 1.12 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.72 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (6) 以上となった週は、多摩区で第 27 週 (6.40 人)、第 28 週 (9.60 人)、第 30 週 (9.00 人)、第 31 週 (8.20 人)、第 32 週 (7.00 人)、宮前区で第 29 週 (6.33 人)、第 32 週 (6.33 人)、幸区で第 31 週 (8.75 人)、川崎区で第 33 週 (7.00 人) でした。

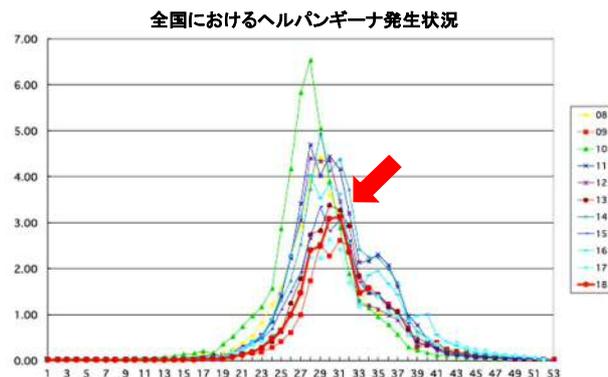


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	男	3	H30.7.3	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A4
多摩区	男	2	H30.7.6	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A4
多摩区	女	3	H30.7.11	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A2
多摩区	男	2	H30.7.30	咽頭ぬぐい液	コクサッキーウイルス A4
中原区	男	2	H30.8.3	咽頭ぬぐい液	陰性

【全国及びその他】

全国的にも例年よりやや低いレベルで推移しました。

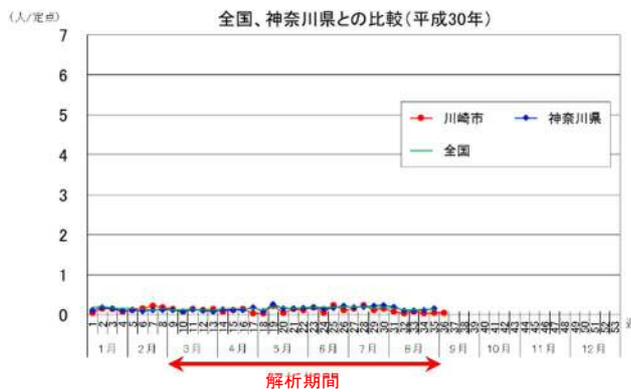
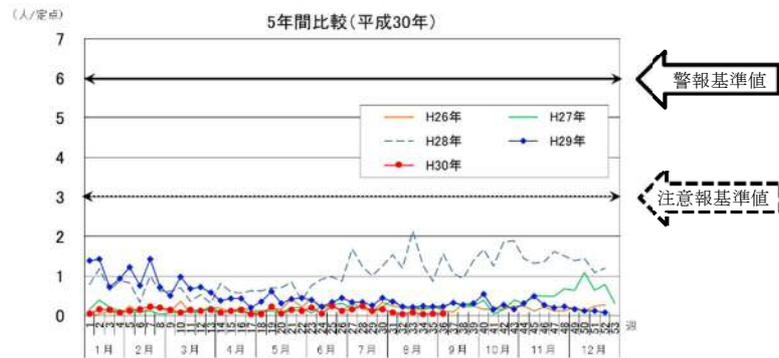


流行性耳下腺炎(警報基準値:定点当たり6人、注意報基準値:定点当たり3人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.11 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.31 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

今期、流行発生注意報基準値 (3) 以上となった週はありませんでした。

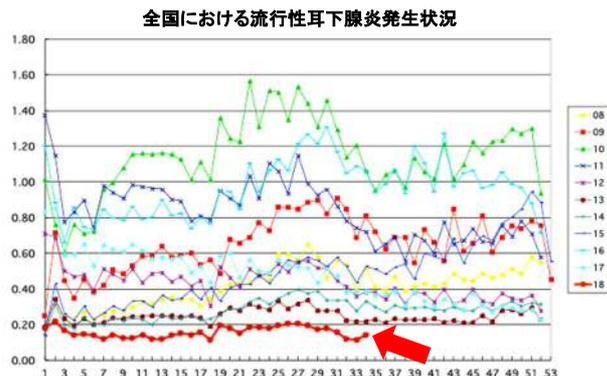


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
中原区	女	7	H30.2.21	咽頭ぬぐい液	陰性

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

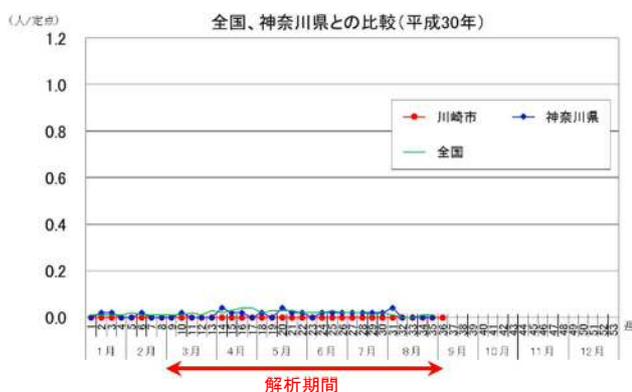
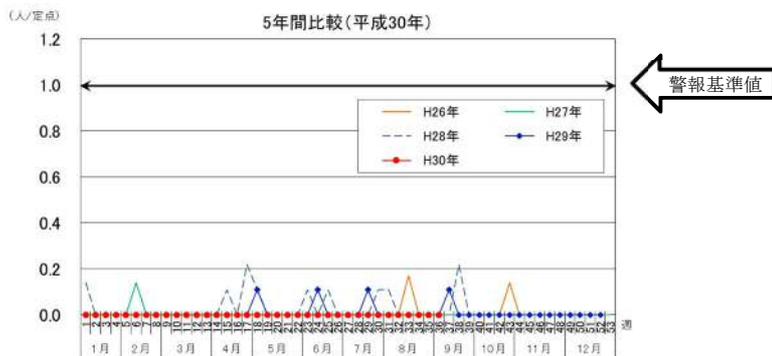


<眼科定点対象疾患>

急性出血性結膜炎(警報基準値:定点当たり1人)

【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



【全国及びその他】

全国的には例年並みのレベルで推移しました。

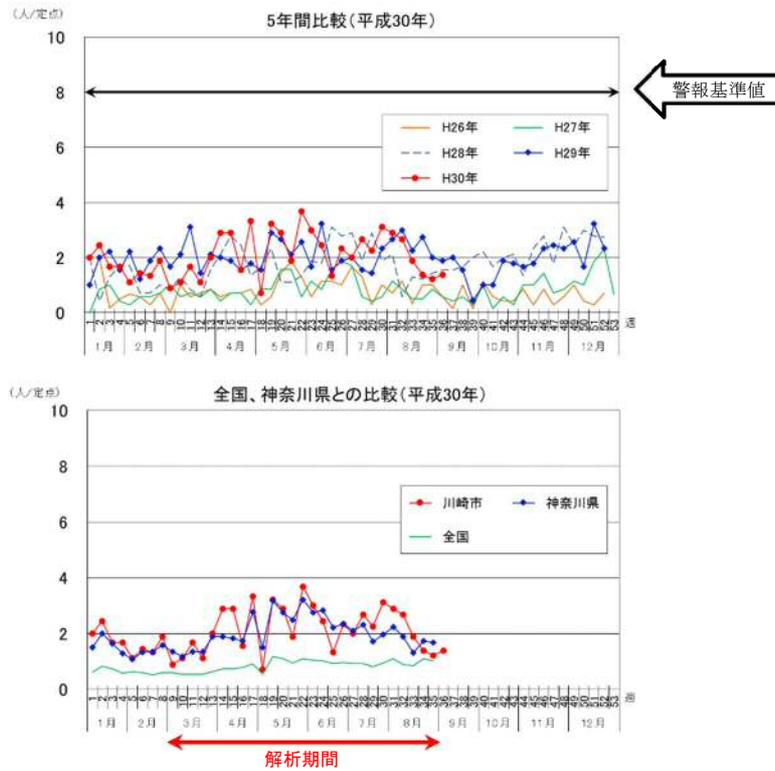


流行性角結膜炎(警報基準値:定点当たり8人)

【川崎市】

今期は定点当たり 2.20 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.68 倍で、例年より高いレベルで推移しました。第 22 週には定点当たり 3.67 人となり、過去 10 年間で最大の報告数となりました。

今期、流行発生警報基準値 (8) 以上となった週は、宮前区で第 14 週 (9.00 人)、第 17 週 (9.00 人)、第 19 週 (9.00 人)、第 22 週 (8.00 人)、第 28 週 (8.00 人)、麻生区で第 15 週 (9.00 人)、第 19 週 (8.00 人)、第 20 週 (8.00 人)、第 22 週 (10.00 人)、第 23 週 (9.00 人)、第 30 週 (8.00 人)、第 33 週 (10.00 人)、高津区で第 31 週 (8.00 人) でした。

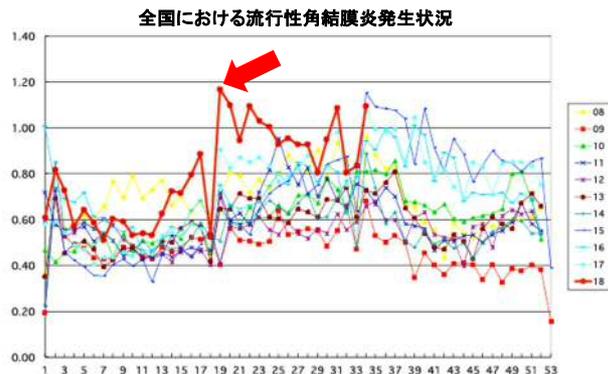


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
川崎区	女	49	H30.4.3	眼脂	アデノウイルス 64 型
川崎区	女	83	H30.5.6	眼脂	陰性
川崎区	男	21	H30.5.11	眼脂	陰性
川崎区	男	33	H30.7.23	眼脂	アデノウイルス 54 型

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり高いレベルで推移しました。

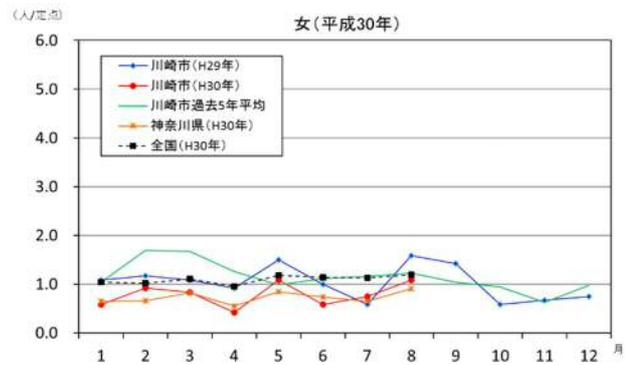
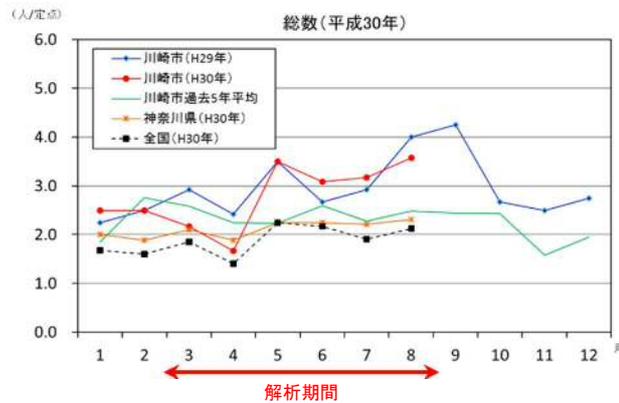


<性感染症定対象疾患>

性器クラミジア感染症

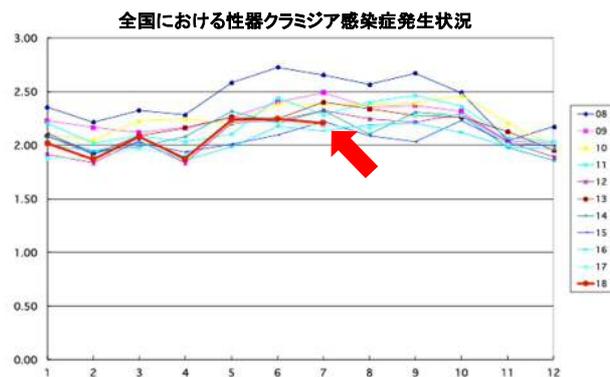
【川崎市】

今期は定点当たり 2.86 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.19 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。特に男性は 5 月以降、例年より高いレベルで推移しました。



【全国及びその他】

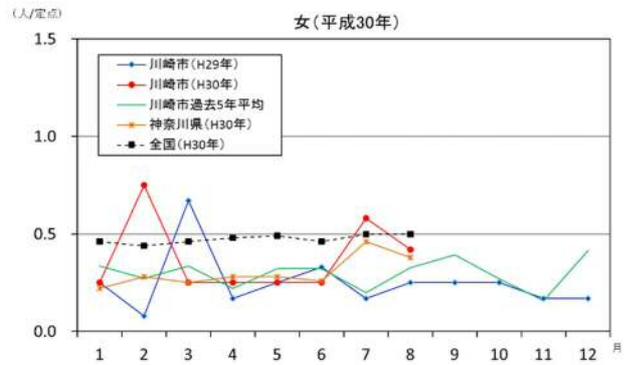
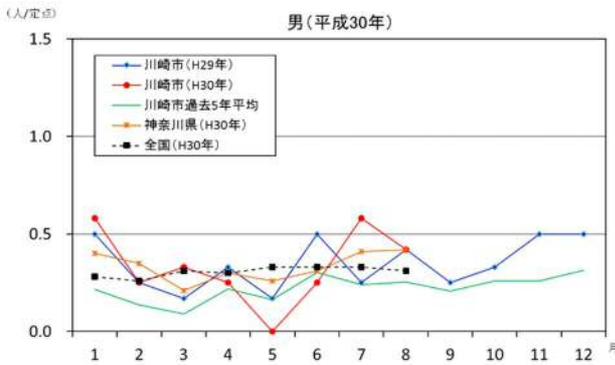
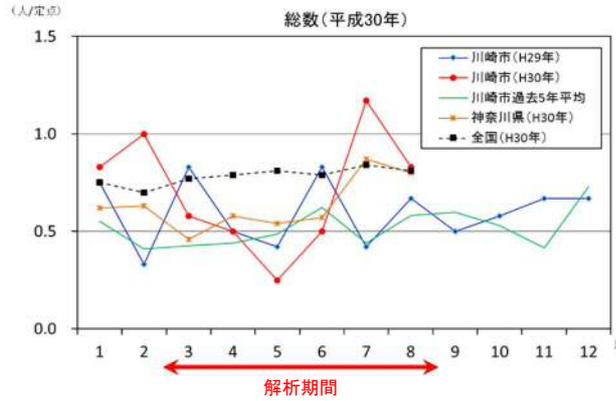
全国的には例年より低いレベルで推移しました。



性器ヘルペスウイルス感染症

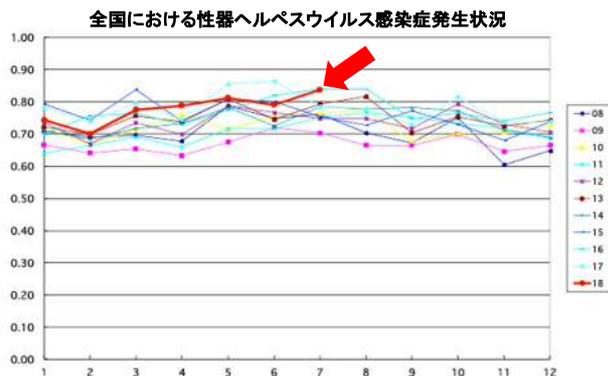
【川崎市】

今期は定点当たり 0.64 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.27 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。特に 7 月、8 月は男女共に報告数が増加しました。



【全国及びその他】

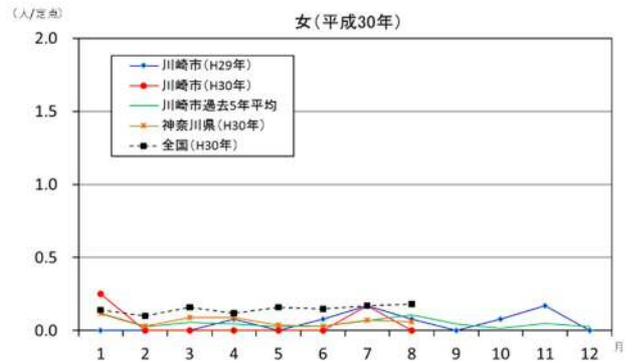
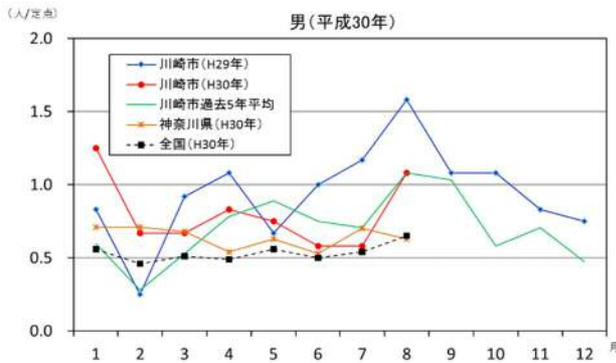
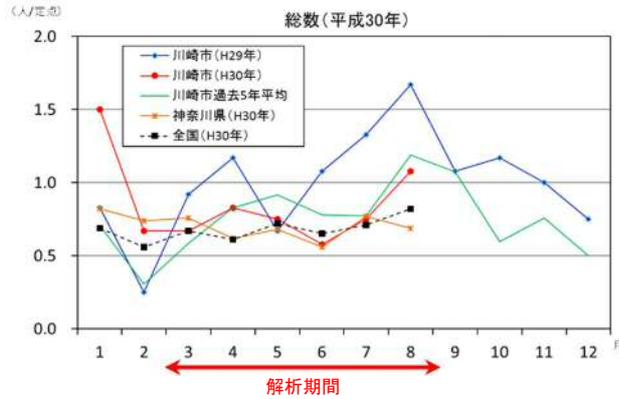
全国的にも例年より高いレベルで推移しました。



淋菌感染症

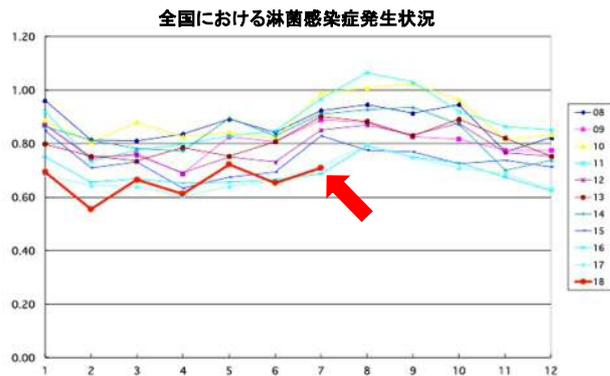
【川崎市】

今期は定点当たり 0.78 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.92 倍で、例年並みのレベルで推移しました。特に男性の報告数が多く、全体の 96.4%を占めていました。



【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

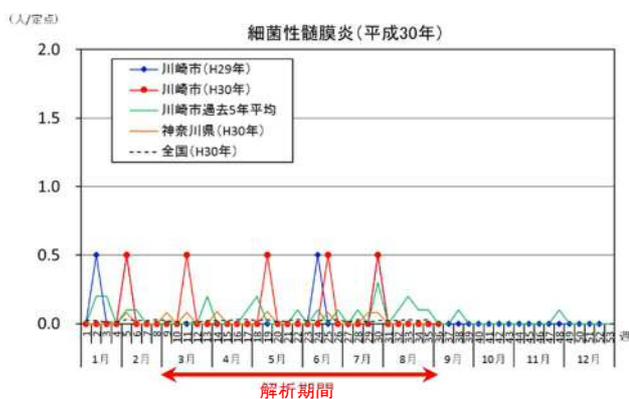


<基幹定点対象疾患（週報）>

細菌性髄膜炎

【川崎市】

今期は定点当たり 0.07 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.09 倍で、例年並みのレベルで推移しました。

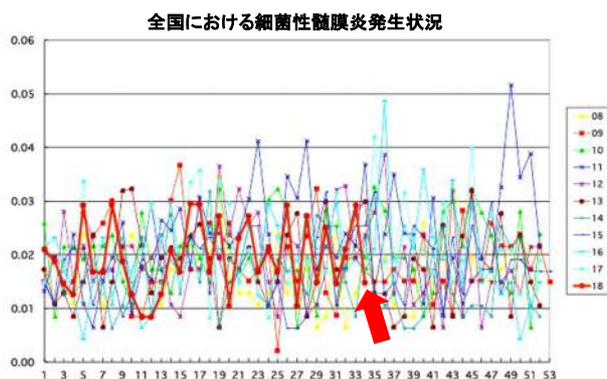


なお、検出された病原菌は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	届出週	検査材料	検査結果
川崎区	男	78	第 11 週	髄液	<i>Pseudomonas aeruginosa</i>
川崎区	男	39	第 19 週	髄液	<i>Staphylococcus aureus</i>
川崎区	女	84	第 25 週	髄液	<i>Klebsiella pneumoniae</i>
宮前区	男	71	第 30 週	血液	<i>Staphylococcus aureus</i>

【全国及びその他】

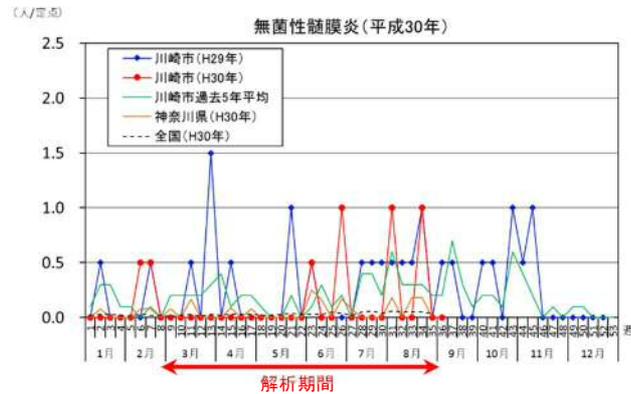
全国的にも例年並みのレベルで推移しました。



無菌性髄膜炎

【川崎市】

今期は定点当たり 0.13 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.61 倍で、例年より低いレベルで推移しました。



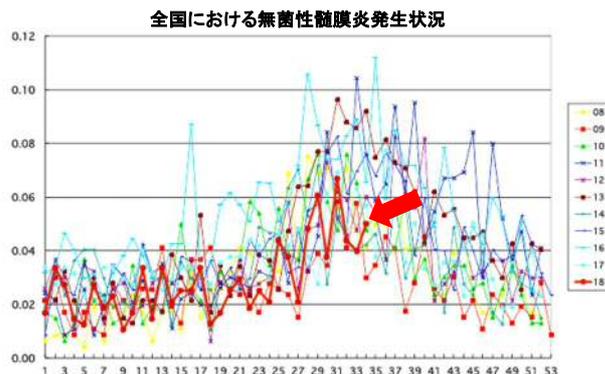
なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
川崎区	男	31	H30.6.8	髄液	陰性
川崎区	男	6	H30.6.23	髄液	ムンプスウイルス B(鳥居株)※
川崎区	男	30	H30.6.25	髄液	陰性
川崎区	男	6	H30.7.26	髄液	陰性
川崎区	女	45	H30.8.2	髄液	陰性
川崎区	男	2 か月	H30.8.19	髄液	陰性
川崎区	女	30	H30.8.26	髄液	水痘・帯状疱疹ウイルス

※おたふくかぜワクチン株

【全国及びその他】

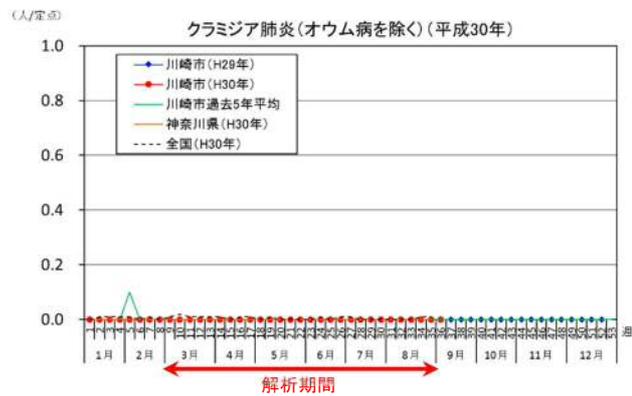
全国的には例年並みのレベルで推移しました。



クラミジア肺炎(オウム病を除く)

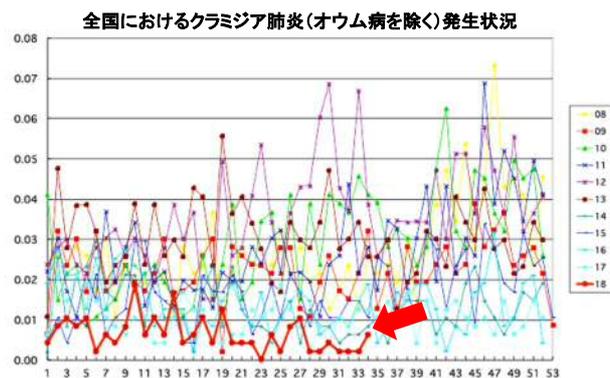
【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



【全国及びその他】

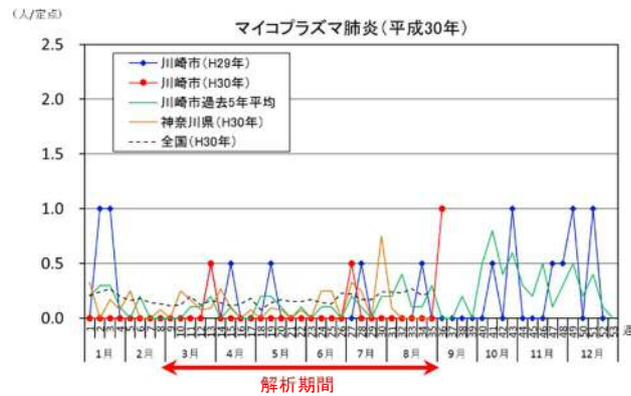
全国的には例年より低いレベルで推移しました。



マイコプラズマ肺炎

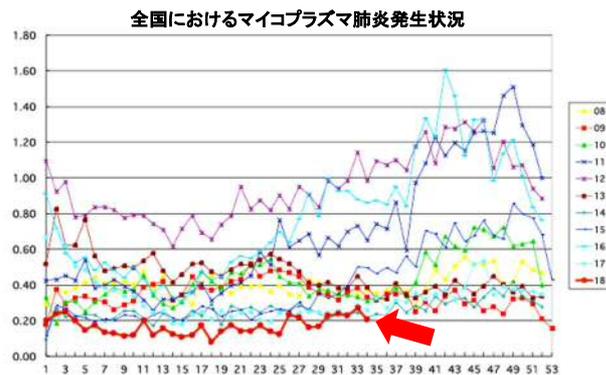
【川崎市】

今期は定点当たり 0.04 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.38 倍で、例年より低いレベルで推移しました。第 13 週及び第 27 週にそれぞれ 1 件の報告がありました。



【全国及びその他】

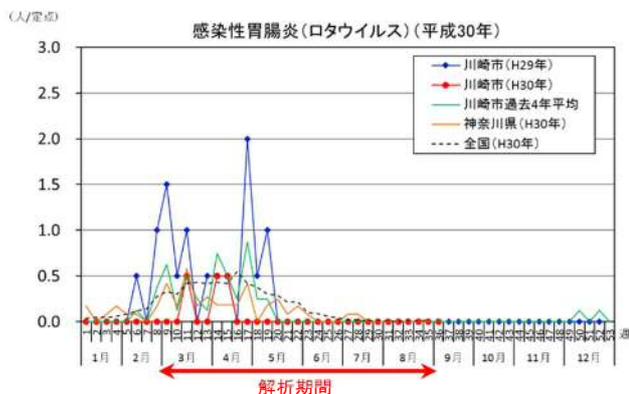
全国的にも例年より低いレベルで推移しました。



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.06 人の報告があり、過去 4 年平均の報告数と比較すると 0.35 倍で、例年より低いレベルで推移しました。第 11 週、第 14 週及び第 15 週にそれぞれ 1 件の報告がありました。



なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査材料	検査結果
宮前区	男	1	H30.3.11	ふん便	ロタウイルス G2P[4]
宮前区	女	2	H30.4.1	ふん便	ロタウイルス G3P[8]
宮前区	男	8	H30.4.7	ふん便	ロタウイルス G9P[8]

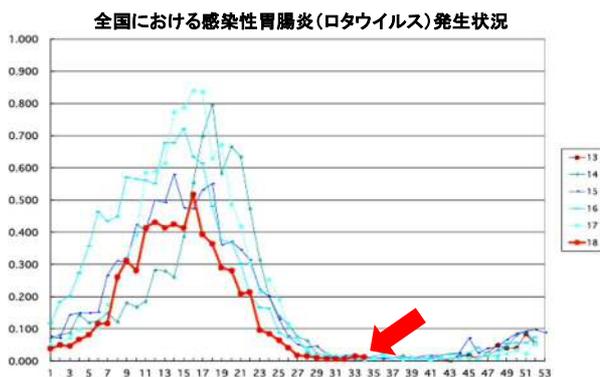
※単価ワクチン：G1P[8]を成分とした弱毒生ワクチン

※5価ワクチン：G1、G2、G3、G4、P1A[8]を成分とした弱毒生ワクチン

単価ワクチン及び5価ワクチンについては、いずれも G1P[8]、G2P[4]、G3P[8]、G4P[8]、G9P[8]に効果があると添付文書に記載されている。

【全国及びその他】

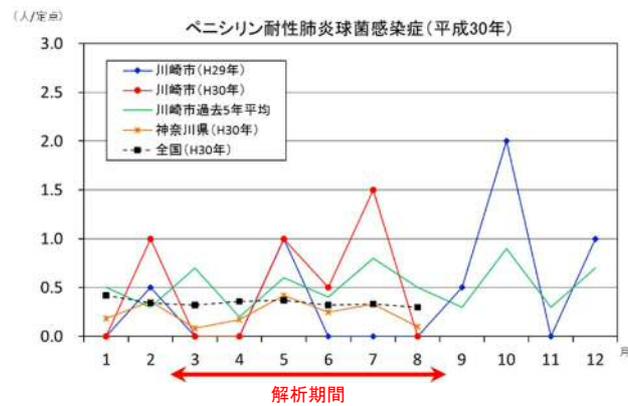
全国的にも例年よりやや低いレベルで推移しました。



ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

【川崎市】

今期は定点当たり 0.50 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.94 倍で、例年並みのレベルで推移しました。5 月に 2 件、6 月に 1 件、7 月に 3 件の報告がありました。



【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

